



伝統芸能披露



国際コンテナターミナル



クルーズ船のクルーと子どもたちの交流



オプションツアー
シャトルバス



物販テント村

夢みなとタワー
(総合免税店)

境港長期構想(案)

～北東アジア諸地域とのゲートウェイ～

令和2年2月
境港管理組合



水木しげるロード
リニューアル



クルーズ客向け
観光案内所



大漁祭の開催



ポート・オブ・ザ・イヤー2017授賞

平成30年 港湾関係団体新春賀詞交歓会
ポート・オブ・ザ・イヤー



水木しげるロード

2019 レーザー 世界選手権大会 境港開催決定

大会開催式典



ひだか

WIDAKA

境港

10610

内航RORO荷卸し状況

目次

序章	長期構想の検討概要	2
第1章	港湾及び背後地域の現況	9
第2章	目指すべき方向性	37
第3章	港湾への要請と課題	41
第4章	境港が今後担うべき役割	68
第5章	長期構想における施策の展開方向	75
第6章	将来の空間利用計画	98

序章	長期構想の検討概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向
第6章	将来の空間利用計画

長期構想とは

■ 長期構想とは・・・

- 重要港湾(境港)の管理者は、港湾法第三条の三第1項の規定により、「港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に関する政令で定める事項に関する計画(港湾計画)を定めなければならない。」とされています。
- 一方で、このような公共事業に係る計画に関して国民の理解を得るためには、計画段階より早い構想段階において、計画に対する住民等の理解と協力を得るとともに、検討のプロセスの透明性・公正性を確保することが重要になることから、計画を合理的に策定するための基本的な考え方を示す「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン(H21.3)(国土交通省)」が策定されています。
- 長期構想は、このガイドラインに基づき、長期的視野に立った総合的な港湾空間の形成とそのあり方を構想・ビジョンとして、目指すべき将来像やその実現に向けた空間利用計画(ゾーニング)、施策を検討し、とりまとめるのです。
- 現在の境港の港湾計画は平成17年6月に策定(改訂)されたものですが、今般の社会情勢の変化に応じ、境港が果たすべき役割も見直しする必要があることから、この度、港湾計画の改訂に先立って、長期構想を検討するものです。

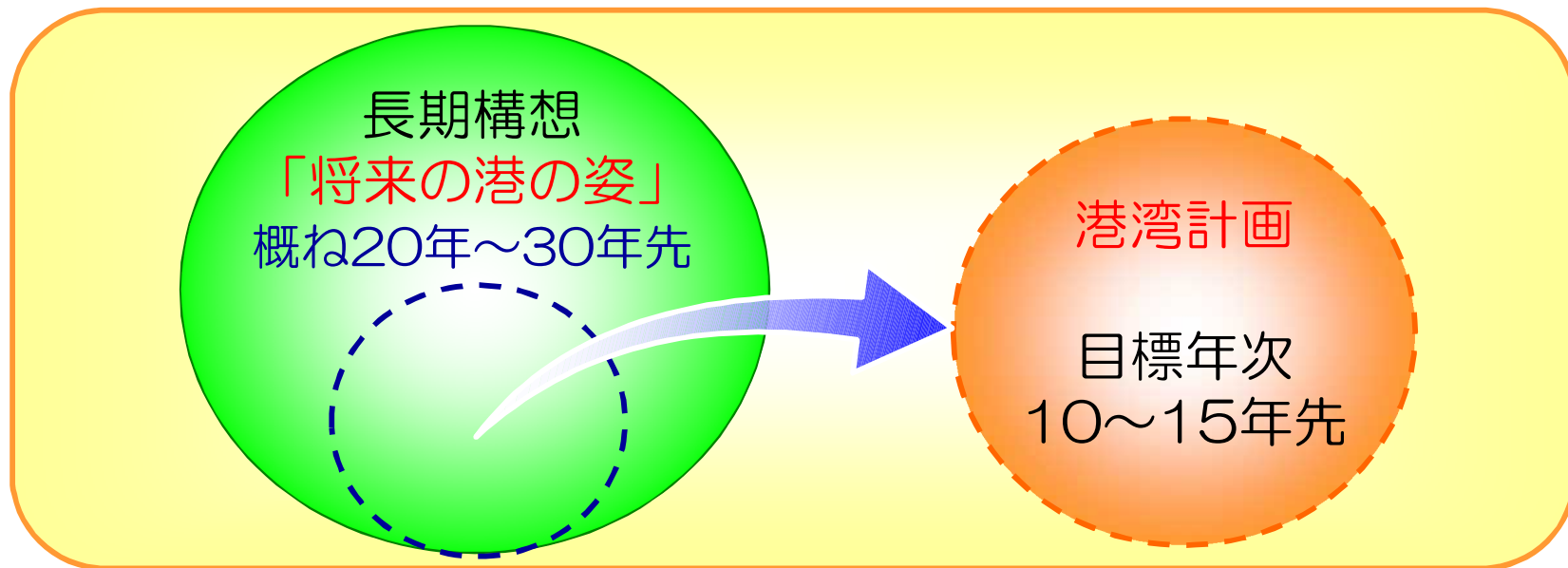
長期構想と港湾計画

■長期構想

- 20年～30年程度先を見通した港の将来像
- 将来目標、長期的な港湾整備の方向性
- 空間利用のゾーニング

■港湾計画

- 10年～15年程度先を目標とした施設整備や土地利用計画



【長期構想と港湾計画のイメージ】

境港における現行の港湾計画

- 平成17年6月 境港港湾計画 改訂
- 平成27年3月 境港港湾計画 一部変更

■目標年次:平成30年代前半

■計画の方針:

- 1) 外内貿物流機能の拡充
- 2) 港湾の高度利用
- 3) 臨港交通体系の強化
- 4) 親水空間の確保
- 5) 旅客船ふ頭の整備
- 6) 生態系との共生にも配慮した港湾利用

【目標年次における港湾の能力】

取扱 貨物量	外貿	260万トン
	内貿 (うちフェリー)	250万トン (うち10万トン)
	合 計	520万トン
入港最大標準船型		6万D/W級
港湾 利用者数	旅客施設利用者	15万人
	マリーナ利用者	5万人

長期構想見直しの背景

境港港湾計画

(平成17年6月 改訂、平成27年3月 一部変更)

改訂から10年以上経過

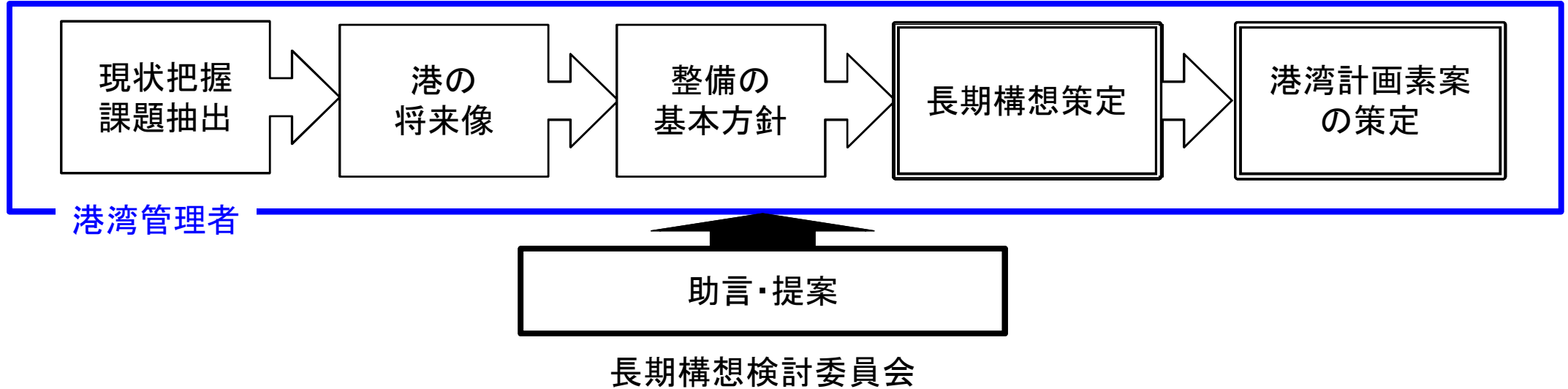
■社会経済情勢等の変化

- ・国際定期フェリーの就航(H21)
- ・リサイクルポートに指定(H23)
- ・日本海側拠点港(国際海上コンテナ、外航クルーズ、原木)に選定(H23)
- ・「みなとオアシス境港」登録(H25)
- ・公共マリーナJOCセーリング競技強化センター認定(H27)
- ・外港竹内南地区複合一貫輸送ターミナル整備着手(H27)
- ・外港中野地区国際物流ターミナル供用開始(H28)
- ・2019レーザー級世界選手権大会(R元)
- ・外港竹内南地区複合一貫輸送ターミナル供用(R2)
- ・バイオマス新規建設計画(米子市和田浜工業団地地内)(R4)
- ・大型クルーズ船の寄港増加
- ・輸送船舶の大型化

境港の港湾計画改訂に向けて、長期構想を見直す

長期構想検討のスケジュール

■役割



■スケジュール

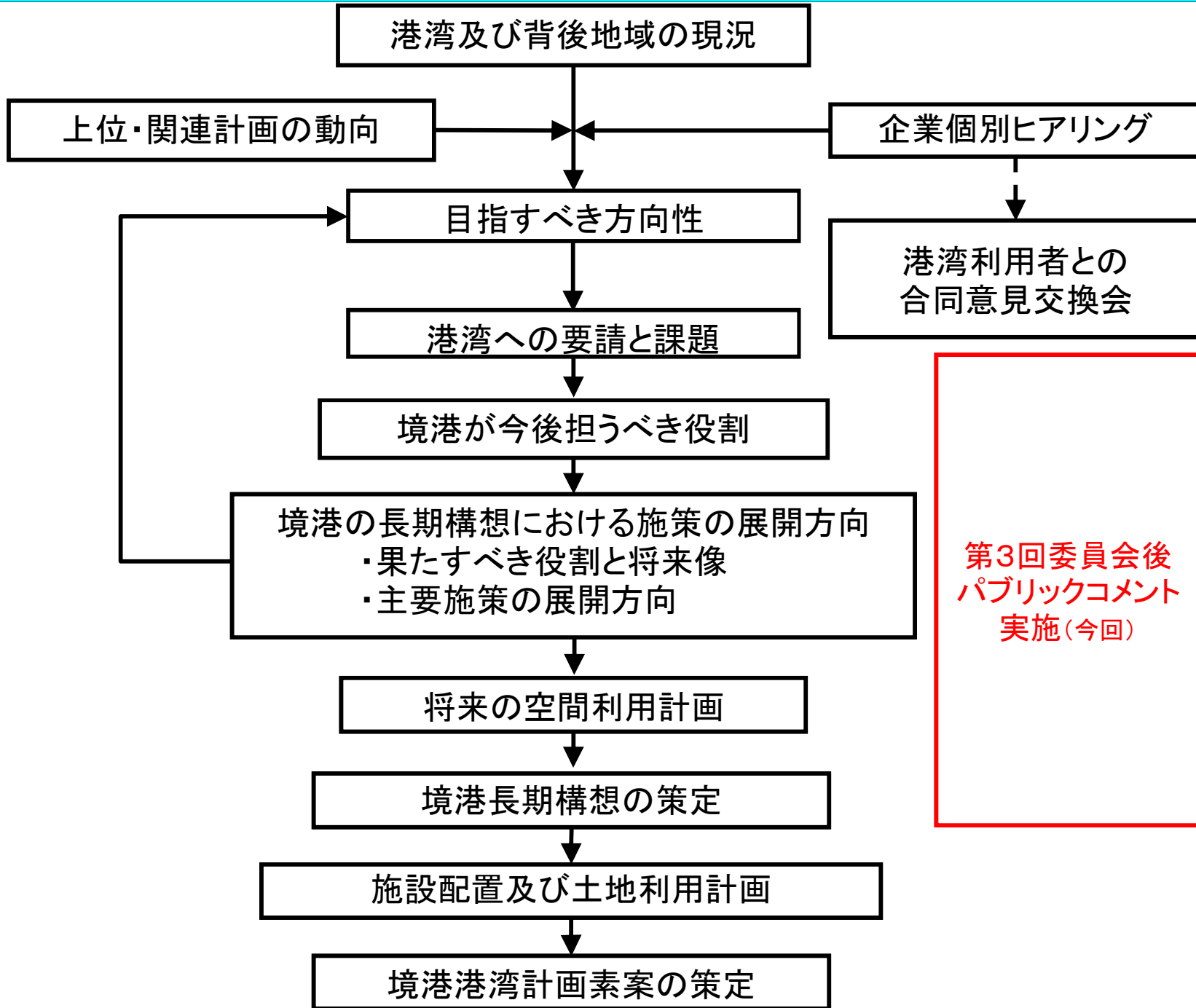
平成30年度	第1回境港長期構想検討委員会 (内容)現況の把握、目指すべき方向性	11月8日
令和元年度	第2回境港長期構想検討委員会 (内容)港湾への要請と課題、境港が今後担うべき役割、境港の長期構想における施策の展開方向(案)、将来の空間利用計画(案)	(幹事会:7月4日) 7月23日
	第3回境港長期構想検討委員会 (内容)境港の長期構想における施策の展開方向、将来の空間利用計画、境港長期構想(案)、境港港湾計画素案	(幹事会:11月29日) 12月19日
	長期構想の素案について、パブリックコメントを実施	今回
令和2年度	第4回境港長期構想検討委員会 (内容)長期構想策定及び港湾計画最終素案の提示	3月頃予定
	港湾計画の改訂	下半期予定

検討フロー

現況分析

長期構想

港湾計画
素案



第1回委員会

第2回委員会

第3回委員会

第4回委員会

序章	長期構想の検討概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向
第6章	将来の空間利用計画